

各位。各団体等からの報告。ご意見

めでたい!

9/3 埼玉 村田春樹

今朝の読売新聞一面トップで眞子内親王殿下の御結婚が報じられた。めでたい。本当にめでたい。安堵の気持ちでいっぱいである。昨年我が豚女が30歳で嫁した。眞子内親王殿下は御年20歳だそうである。不遜極まりないが、あいついで娘を嫁に出すような心境である。

眞子内親王殿下は博物館学を学ばれたそうである。それは博物館美術館の宝庫。スケールも違う、たっぷり楽しんでいただきたい。紅葉のセントラルパーク、五番街、ブロードウェイでミュージカルもいい。お若いお二人のお幸せを心から祈るばかりである。平成17年11月15日私は皇居三重橋前に一人佇立してお車を待った。

紀宮清子内親王殿下（降嫁して黒田清子さん）をお乗せしたお車が式場の帝国ホテルを目指して走りだした。私は一人で御成婚万歳を三唱（絶叫）したところ、お車の窓からお手を振っていただいた。思いたしても涙が滲む。

平成30年10月29日、明治神宮で高円宮家第三皇女絢子女王のご結婚式、数人の女性を連れてお祝いに駆けつけ、喉も避けよと万歳を三唱した。帰路テレビ局のインタビュアーを受け心から祝意を表明し放映された。今度の

ご成婚もどこかで万歳を三唱するつもりである。しかし気になることもある。納采の儀も告期の儀も行われず、降嫁に係わる一時金支給を辞退するところである。それは良くない。まだ独身の姫宮さまが五方いらっしやる、悪しき前例になるのではないか。日頃皇室を税金の無駄として目の敵にしている日本共産党は喜んでるだろうが、辞退して本当に元皇族としての体面が保てるのか。そして何よりも不愉快なのは左翼ならまだしも尊皇家を自称する輩、特に某有名皇室評論家などは、お相手を穢らわしいとまで蔑み「一田もやるな」と言っていることだ。一億5000万円など国会議員の歳費と比したら微々たるもの、議員は毎年、一時金は文字通り一回こっきりであり雀の涙のようなものである。婚約の儀も結婚式も挙げられず、一時金も貰えず、見送りのもなく、前漢の王昭君さながらに悄悄として故国を去る内親王殿下。さすがに国民（某有名皇室評論家を筆頭に御結婚に猛反対した所謂尊皇家の一群十週刊誌十愚民等）をお恨みになるお気持ちになつてしまつてはならないだろうか。成田空港を離陸するとき、さびさびするどころか「こんな国に帰って来るものか!」と思つてしまわれるのではないかと危惧する。私は願う。儀式も一時金も通常通りとし、盛大にお見送りしたい。そして内親王殿下には、機窓から感謝を込められて故国を見下ろしていただき

たいものだ。

菅総理の実績

9/11 愛知県 藤田 信一

百人の会で勉強させていただきました、感謝しています。

マスコミでは、菅総理の実績がほとんど評価されていませんが、ネットの記事を参考に列記してみました。仕事内閣と評価されるべき実績の多さに驚きました。

- ・種苗法成立：コストをかけて新たに開発された種や苗木を海外へ無断で持ち出すことを規制する
- ・重要土地取引規制法の成立 外国人による土地買収規制
- ・携帯電話料金値下げ
- ・学術会議の積弊炙り出し学術会議の任命拒否
- ・福島第一処理水放出決定・不妊治療保険適用
- ・デジタル庁発足
- ・コロナワクチン確保（感染数が少なく認証が遅れたが国民分のワクチンをアジアでいち早く確保）
- ・ワクチン接種率の大幅な引き上げ
- ・6/6時点でワクチン接種完了者49.4% 出典：NHK 新型コロナウイルス特設サイト
- ・ごども庁の設置に向けた準備室の立ち上げ
- ・オリパラの開催と成功（国際的信頼失墜を防いだ）
- ・アフガニスタンへの自衛隊輸送機派遣

・アイヌ新法制定（惠隆之介情報）

少なくとも、ハトポッポや菅（カン）の10倍は働いたと思います。マスク

自民党総裁選

8/22 福井県立大教授 島田洋一

岸田文雄氏は温和な人柄で隣人に持たたいタイプだ。ただ、何かモノを考えている人間の顔ではない。私と同年代だが、はっきり言って学級委員にも推せない。石破茂氏は1学年上だが、野田聖子氏や稲田朋美氏と共に立憲民主党に行くべき人で、自民党の総裁候補には、ハナから数えられない。下村博文氏は、一緒にガライラマに会いに行ったこともあり、私は人間的に信用している。ただ、どの政界通に聞いても、現状では本人以外に熱心な支持者がいらないという。残念な話だ。

稲田朋美議員の応援団、ともみ組・・・（パー券購入等で）相当買いだ方々へ。私は稲田議員が議員になる前、30年ほど前から付き合いがあったが、トモミフィーバーにはなぜか違和感があった。皆、稲田議員のことを、恋人のように称賛する。私は冷めた自分がおかしいのかなとおもっていた。特に資金集めのパーティーの時期になると、皆僕が当然行くものと勝手に思い込んでいる。「いかない」と言う、不思議に思われた。誰とは言わないが、今日の稲田議員をいかに説明

するのだらう。

願わくば、(一般論として)手のひら返しはやってほしくないな。マスコミ

バイデン政権迷走と尖閣の危機

8/21 広島 奥中正之

バイデン大統領のアフガン ガ二政権の切り捨ては、トルーマン大統領の蒋介石政権切り捨てに匹敵する失策だと指摘したところ、中国は早速この失策に乗じて、尖閣諸島の実行支配強化を推進しています。8月19日には海警局の船舶4隻が尖閣諸島の領海を侵犯し、接続海域の外側には漁船100隻が出動しています。領土領海を守る日本の姿勢を瀬踏みしているのです。そして米政権の反応も観察しているのです。

これに対してバイデン政権は迷走を続けています。アフガンに対する米政府の姿勢を中国は利用して、台湾も見捨てられると宣伝を強化しています。これに対してバイデン大統領は「台湾に攻撃を仕掛けた勢力に対しては反撃する」と明言。台湾有事への対応で明言を避けていた歴代米政権の「あいまい戦略」から、バイデン大統領は一步踏み込みました。しかしバイデン政権の高官が「米国の台湾政策に変更はない」と大統領の発言を取り消しました。この迷走は中国に付け入る隙を与える恐れがあります。尖閣の波高しです。日本国内に日米同盟軽視の勢力が

あることは、中国にとって利用すべき勢力です。松井広島市長ほか全国津々浦々に盤踞する「核兵器禁止条約加盟促進」の人たちや組織は日米同盟軽視勢力です。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑

8-16 神奈川 川久保勲

昨年の8月19日、12時、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で慰霊行事を行っていたのは、社民党、立憲民主党の連中で、慰霊に対して「憲法の条を守る」と叫んでいました。私たちは環境省にこの団体の慰霊行事を認めないよう電話で抗議しました。私は意見を理解してくれなかった感触を得ました。今年も靖国神社昇殿参拝後、念のため千鳥ヶ淵に行きました。今年も左翼の慰霊行事は行ってないと思っていました。昨年と同じでした。我々は8月19日、靖国神社しか念頭になかったもので、その間、無名戦士が祀られている千鳥ヶ淵戦没者墓苑は左翼に乗っ取られていたのです。無名戦士はある意味、靖国に祀られている御霊より気の毒だと思えます。この地を心ない左翼に乗っ取られているのは許しがたいことです。

来年は同日同時刻に「英霊に感謝を捧げる会」(仮称)の名称で、「千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会」に墓苑の使用申請をしようと思えます。千鳥ヶ淵戦没者墓苑を左翼の手から取り戻すために、多くの同志を集めたいと思えますので、皆様よろしくお願ひします。川久保勲

自然の猛威も自然の恵みも日本人の心根を育んできたのではないか?

8-12 京都北山細野の神主

日本には四季があり、梅雨という雨季があり、夏の猛暑があり、冬の豪雪があり、秋には台風の通り道になり(今や秋だけではないですが)、地震が頻繁にあり、津波の恐怖があり、火山噴火があり、自然の猛威に揉みくちやにされながら、春の桜を楽しみ、秋の月見を紅葉とともに楽しみ、自然をも楽しんできました。挨拶はだからまずお天気の模様から始まっているのです。日本の自然ほどバラエティーに富んだところは稀でしょうね。

自然の猛威が一年を通じてあるところで一人では生きて行けないので人々は助け合い自分のことよりも人のために何が出来るか? を考える心優しい日本人が育ってきたのだと私は思います。

最近グローバリ化という何だかわけのわからん外国語で共産主義の先駆けとして世界に広がっていますが行く先は独裁化にほかなりません。人はお互いに寄りかかってしか幸せな人生を送れないのだということをもう一度自覚することが大切です。

イキナリのグローバリ化が人類の幸せにつながるか? グローバリ化とは独裁化の隠れ蓑でしかありません。ここを理解すべきです。

日本の四季は日本人に良きにつけ悪きにつけ考えることを提供してくれる現象だと感謝しています。

「特攻回天」遺書の謎を追う」を紹介

8-10 文芸評論家 蓮坊公爾

日本戦没學生の手記をまとめた『きけ・わだつみのこえ』は、(反軍)なる意図に基づき編集(右波)されて居る。作為なる作品に仕上げている。東京大空襲は、帝國日本の(軍事都市)故の報いの結果(これ等の疑念は、史実を歪曲・真実を封印する狂気だと云うことだ。「創作遺書」という(ウソ)を信じてしまう人を一人でも減らしたいと強く願う)筆者大森真弘産経社会部記者の慧眼が(真相解明)への磁場に引き寄せられたのである。事の発端は「回天頭彰会」(中山義文氏・最後の海兵卒業生)の紹介してくれた山本英輔(同志が、「十八歳の回天特攻隊員の遺書」手紙文面の偽り。つまり(戦後に創作された)偽作が、あたかも真実の如くインターネットで拡散して居る)由々しき事態への義憤(一解明だと云うことだ。然し、偽作者は「O」とした。大森記者は、実名公表をせぬ。明らかに致すことが、(回天搭乗員)への真義なのだ)が…。

戦後七十五年の忘却は、風化というまやかしを容認しては、いけない。其れが、祖國の御為に尽くした御霊への鎮魂である。

「あの若々しく散った純粹さ、そして祖國愛に、私はただ打たれ、心底申し訳ないと思いを深くしている」・野村秋介「特攻への追悼」。

国会議員クラブ。ちまの新聞

決断

(特定失踪者調査会) 荒木和博 2021.09.01

「その子が北朝鮮の東北端に近い清津の郊外にいたことが分かった。すでに間接的にだが連絡もついていて本人に帰国する意思もあることもほぼ分かっている」

長野の顔色が変わった。〇「外務省は交渉しているのか」

「いや、北朝鮮の中は混乱していても返すなんて交渉ができる状況じゃない。向こうのトップだっていつどうなるか分からない」

「だったらどうしようもないじゃないか」と言いかけて長野は生唾を飲み込んだ。

宗方はグラスのビールを飲み干して言った。〇「自衛隊で取り返す」

「お前正気か、今の日本がどういいう国か、一番分かっているのがお前じゃないのか。それにうちはまだ憲法改正も時間をかけて議論すべきという立場だ。俺よりずっと左巻きの連中も少なくない。そりゃ拉致されてる国民を無視しろとは言わんが、そもそも自衛隊を北朝鮮に送るって、憲法をどうやってクリアするんだ」

「憲法は変えん」「……」

「芦田修正で解釈を変える。これなら閣議決定で済む」

宣伝ですみません。8月15日から発売されている私の小説『希望』作戦、発動 北朝鮮拉致被害者を救出せよ』

(晩聲社オニオンメント)と電子書籍で出版)の一節です。長野は野党第一党、社会民主党の代表、宗方は総理大臣。もちろん、全く架空の人物です。

特に拙著前半部分についての評は著者冥利に尽きるものでした。ぜひお読みいただきたいのですが、ここでは後半部分について書いておきます。後半は拉致被害者救出への政治の決断がテーマです。

アフガニスタンに邦人救出に自衛隊機が向かったのを見て、「北朝鮮にも行ければ良いの」と思った方も少なくなかったと思います。この原稿を書いている8月30日時点ではまだ法律の制約で自衛隊は十分な活動ができていないようですが、何かのショックが加わればおそらくクリアしてしまうでしょう。もちろん、そのショックというのは起きてもらいたくないことが起きるといっています。

本書の最後のところ、「解説に代えて」でも書いたのですが、何年前か前、自民党のある県連の青年部が主催したシンポジウムに参加しました。テーマは拉致被害者救出と自衛隊。私が基調講演をして、その後シンポジウムがあったのですが、

ここにパネラーとして参加していたある国会議員は拉致被害者救出に自衛隊を使うことに極めて否定的でした。自衛隊法の制約について滔滔と語り、解釈での対応は「立法意志」があるのでできないと言っていました。

拉致被害者全員を(生存者に限っても)外交交渉だけで取り返せないことは誰にでも分かります。かといって法律を変えるために努力するという発言があったわけでもなかったのです。この議員の発言はつまり「拉致されたら見捨てるべきである」ということです。そしてそれはこの議員のみならず、おそらく大多数の国会議員が同様の認識だろうと思います(それに気付いている人は僅かでしょう)。

こつやって日本の戦後は続いてきました。米国に従っていれば、品悪く言えば米国の靴の裏を舐め続けていれば何も手を汚さなくても汚れ仕事を米国がやってくれて、日本は平和国家の顔がしていられるという醜い姿がわが国の戦後であり、今の5歳の私など、その醜い恩恵にこつぷりこつぷりとなって来たと言えます。

心ある国会議員の皆さんにはこれを変える努力をしてもらわなければなりません。しかし、それだけでは間に合いません。個人が自分の判断で、自分の持ち場で何ができるか、何をすべきか考えて、できることをやってみていくのではないでしようか。

コロナウイルスに振り回されたこの一年半余、私たちはあらためてこれまで常識だと思っていたことが決してそう

ではなかったと思い知らされてきました。今でもどうすれば良いのかについて結論は出ていません。世界各国を見ていてもうまくいったと見られていた国が再度困難に陥ることが起きています。それはある意味天の与えた試練ということなのかもしれません。だとすればそのとき必要なのは平時のための法律より、激動期における決断であるはずだ。

宗方総理と長野代表というのは何人かのモデルを融合させたような存在ですが、この二人の会話の部分は設定した二人が何を話すか、著者である私が聞いていてそれを書いたような感じでした。やがて必ず、日本には彼らのような決断をする政治家が出てくれるものと信じています。

書評 「希望」作戦、発動 北朝鮮拉致被害者を救出せよ

1.08.23 三浦小太郎

本書は特定失踪者問題調査会代表の荒木和博氏による、拉致事件とその被害者救出を描いたある種のシミュレーション小説である。おそらく多くの人々が、本書における日本の政治家の決断に感銘を受け、現実の政治家との差を嘆き、かつ後半部の救出劇を胸のすく思いで読むだろう。しかし、私にとって印象的だったのは、何よりも、拉致にかかわった工作員、そして現地協力者たちの心情を著者ができる限り公正に、時には愛情をもって描き出

そうとしている部分だった。日本人拉致事件に、「現地協力者」といふべき、朝鮮総連関係者がかわっていたことは、原ただあきさん拉致事件の経緯をたどるだけで明らかである。そして、その多くが、1960年に始まった北朝鮮帰国事業で親族が北朝鮮に渡り、いわば北朝鮮に「人質」とられていた人々だった。

本書に「現地協力者」として登場する金正彦も、また、日本人教員である中山浩介にしても、そしてこの二人を上から操る「李」も、許しがたい拉致犯罪に手を染めてはいるのだが、読者がどこか彼等への同情を覚えてしまうのは、彼らすべてが人間としての弱点を持ち、それは読者である私たちにも共通するものであるからだ。

まず日本人教員の中山は、教え子が悲劇的な自殺を遂げており、その前日に彼女と過ごしていたという「弱み」がある。何ら関係はなかったとはいえず、そのことが公になれば地方の教員としての名譽は失われかねない。中山は秘密を暴かれる恐怖から、するすると教え子を工作員と思しき在日朝鮮人、金正彦に紹介し、研究テーマを「北朝鮮」にするよう指導、拉致事件の片棒を担いでしまう。

さらに言えば、ここでキーワードになるのは「差別」と「歴史責任」なのだ。中山は良心的な教師として、教え子を金正彦に紹介することをためらう。しかしそこで、金正彦が言うのは「あなたは在日朝鮮人を差別するのか」「朝鮮半島の分断や歴史的責任をどう

考えるのか」という、本来何ら関係ない言葉だ。これに中山が逆らえないのは、もちろん当時はまだ濃厚だったいわゆる「自虐史観」の影響であろう。しかしそれ以上に、自分が最悪の行為をしようとするとき、自分で自分をだますために使われる論理こそが、このような「正義」の幻想である。実は、中山は単に自分の保身からスキャンダルを恐れ、罪もない教え子を犠牲にしようとしているにすぎない。しかし彼は、自分を正当化するために、その行為をいつの間にか、自分の内面で、信じている歴史的「正義」の問題に無意識のうちにすり替えてしまっている。

これは工作員たちも同じなのだ。金も李も、彼らが北朝鮮の国家犯罪に手を染めるのは、帰国した家族の生命(政治犯収容所に送られていることが暗示される)を守りたいためである。しかし、彼らが自分の家族を守りたい気持ちは真摯なものだったとしても、そのために罪のない他者が犠牲になっていいはずがない。しかし、ここでも自己欺瞞が働く。自分のやっていることは確かに悪かもしれないが、それはかつての日本が行った歴史的犯罪に比べれば問題にならない。また、将来の朝鮮半島統一という正義の実現のためには、一つの小さな犯罪行為は「歴史の中では正当化される」。彼らはこのような「正義」の幻想で、自分の犯罪行為を内面で正当化してしまふ。自分の行っている悪を正当な行為であると思いつまめる幻想を生み出すことが、共産主義思想や歪んだ歴史観の本質的な恐ろしさと犯罪性なのだ。

だが、私たちは果たして彼らを本当に笑う資格があるのだろうか。本書では、拉致事件の可能性に気付きつつ、うやむやにしようとする日本の政治構造が示唆され、それを現場の警察官、ジャーナリスト、政治家、そして何よりも市井の人々の勇気が打ち破っていく過程が描かれていく。しかし、著者がそのような一員であったことは別として、それは未だに実現していないどころか、むしろその隠ぺいといしか思えない日本政府の「工作」や、真実に迫ろうとしない政治家の姿勢は全く変わっていないのだ。私たち

日本国は、共産主義や全体主義のイデオロギーに支配されてはいないかもしれない。歴史認識も、近年客観的なものに戻りつつあるかもしれない。しかし、現実の拉致被害者を助けることもできず、過去の日本の歴史の功績を語ろうと、左派の思想や歴史観を批判をしようとして、それは現在の私たちを「ミリも正当化することにはつながらないはずだ。むしろ「戦後日本は平和で豊かに栄えてきた」「拉致事件は悲劇だが、現在の日本政府を信じ、アメリカの助けを待つしかない」「憲法の制約があり、日本が事実上アメリカの占領政策で弱体化させられている以上、できることは限られている」といった「幻想」が、私たちの目をくらませ、同胞を救出するという当然の義務から目を背けさせているのではないだろうか。

私たちに問われているのは、国家犯罪を看過し、被害者を見捨ててきたことで、「共犯者」になり続けて来た、私たち自身の姿なのである。そして、本書の結末

部に、私たちはただ爽快感を覚えるだけではなく、「この程度のことは日本はできるはずだ」という確信につながるなければならないだろう。

気概とは具体的に は大義の為に自分を 捨てること

8-31 (國體護持研究家) 堀芳康

昔の政治家には気概があった。来島恒喜の投げた爆弾で片足を失った大隈重信だが、むしろ、爆弾を投げて自害した来島を気づかして、年忌法要には代理人を送り続けた。「我輩は、爆弾ぐらいて青くなるような腰抜けじゃない。そんなもの屁とも思っていない」

その言葉が大隈の気概を物語っている。井上馨も三井の番頭と言われて、汚職政治家の筆頭のように言われたが、彼にも何としても日本を欧米の植民地にしない。その為に核になる産業を育成するという思いがあったと言われている。国家としての自主独立、国際社会の中での主体的役割、この大目標の為に、潔く自分の事は捨て去って、大義の中に生きる。それが気概というものだろう。

国家の為なら這いつくばってでもやり抜く覚悟があるかどうか、それが本当の政治家というものだ。健康上の理由？それは気概があるのかないのかは、自分で考えて見てください。

今日の新聞報道・ニュース等

ネット上の中傷対策 「侮辱罪」厳罰化 法制審で諮問

9/14(火) テレビ朝日系

インターネット上の誹謗(ひぼう)中傷対策のため、上川法務大臣は刑法の「侮辱罪」の厳罰化に向けた法改正を法制審議会に諮問することを明らかにしました。

上川法務大臣：「公然と人を侮辱する侮辱罪について厳正に対処すべき犯罪であることを示し、抑止することが必要であると考えられます」

侮辱罪の法定刑は現在、刑法で最も軽い「拘留または科料」とされていますが、上川大臣は厳罰化する必要があるとして懲役刑を導入する考えを明らかにしました。

ネット上での誹謗中傷を巡っては、去年9月に自殺した女子プロレスラーの木村花さん(当時22)に対する侮辱罪で大阪府と福井県の男性2人が科料9000円の略式命令を受けましたが、「軽すぎる」と批判されていました。

この法案、もうちょっと早く成立してほしかった。私事ですが、大阪の1氏にネットで「マスクは詐欺師だ」と書かれた。私は1氏を名誉棄損で民事提訴。現在大阪地裁で裁判進行中。判決

が出たら詳細はお話ししますが、私の場合、匿名ではなく、実名を名乗っての投稿。と言ったことは、他人の名誉を汚すことにまったく痛痒を感じない、無神経な人のようです。彼も多分ブログに書くなら慎重を期したと思いますが、ネットだといふ軽いノリで書いてしまったのでしよう。絶対やったらいけないと思います。

マスク

陸上自衛隊の軍用車 両、釧路駐屯地↓矢臼 別演習場に公道走行

9/9(月)

北海道放送

5日夜、陸上自衛隊第7師団は、軍用車両23両を公道を使って北海道東部の矢臼別(やうすべつ)演習場へ移動させる訓練を行いました。

この訓練は、迅速な輸送手段を確認するもので、5日午後9時すぎに釧路駐屯地を出発した装甲車など23両は、国道4号線などを通っておよそ95キロ離れた矢臼別演習場へ向かいました。

このルートで移動する訓練は3年ぶり、公道では市民団体などが抗議の声を上げました。6日夜は、軍用車両をフェリーに乗せて釧路港から苫小牧港などへ移動させる訓練も行います。

抗議した連中に抗議する。自衛隊車両が、誰かの家の庭でも走ったのか。？
まずは、「ご苦勞様」だろ。問題なのはマスクミ。抗議の連中は写真を見ると10人くらい。10人くらいで「(市民団体)って言えるのか。我々が100人でデモしても無視なくせ」。マスク

2021/09/03 共同通信社

ノーベル賞候補が 中国で研究日本の 「頭脳」流出懸念

【上海共同】光を当てただけで化学反応を促進する「光触媒」を発見し、ノーベル賞候補に名前が挙がる藤嶋昭氏(70)は東京理科大学学長、東京大特別栄誉賞、中国の上海理工大で研究を進めることが3日、分かった。

藤嶋氏は「人類のために研究するだけ」と説明しているが、中国は外国の優秀な人材の引き抜きを積極的に進めており、日本の「頭脳」が中国へ流出する懸念も高まっている。

東京 坂口久夫

よりによって、中国で……。学者としては優秀なんだろうけど人間としてはどうなんだろう……。光触媒が軍事技術への転用可能かどうかは解からないけど、日本での数倍上の力ネと環境を提示されたんだろ……。これも旧民主党(現立憲民主党)概ね旧民主党)の仕分けの影響(負の遺産)かな。学者を責めても始まらない、優秀な

研究者が中国に引き抜かれるのは日本政府も悪いんだけどね。

「速報」三菱重工の 取引代金を差し押 さえ “徴用工” 訴訟

8/19(木) フジテレビ系

いわゆる徴用工をめぐる訴訟で、三菱重工が韓国企業から受け取るべき商品代金を、韓国の裁判所が差し押さえていたことがわかった。戦時中に強制労働させられたと主張する韓国人による、いわゆる徴用工訴訟で、原告代理人によると、韓国の裁判所は9月12日、三菱重工が韓国企業から受け取るべき商品代金およそ8000万円を差し押さえる命令を出したという。日本政府は、日本企業に実害が生じた場合、韓国への対抗措置も辞さない構えだが、競売などで現金化する手続きがいらない代金が差し押さえられたことで、日本企業の実害が現実味を帯びてきた。

どういふ形かは別にし、韓国とは一戦交えなければならぬ時期ではないか。

韓国とは今までいろいろな問題をあいまいにしてきた。その付けが一向に来たように思います。韓国と日本、その国力は馬と犬。その自覚がないのです。一度きり。マスク

徳永弁護士からのメッセージ

政治は数

2021年9月8日

下記意見に触れ、なるほどなと感心しました。統一されたフォーマットによる嘆願書などなんの意味もないだろう、と考えていたのは、司法の裁判所的な考え方だった。

こうした考えに触れると、政治は数なんだ、というリアリティを感じます。いかに数をとりまとめ、数を見せるか。政治は逆に、それでしか動かないということを知らされました。

いわゆる保守派の方々が、高市早苗先生の自民党総裁選挙の支援のために「個人的に」活発な行動を起こされている、と聞く。それでは駄目だ。まず、「組織」を作ることである。その「組織」の「実態」はともかく、「組織」の「活動を行っている」ということが重要なのである。例えば、自民党の政治家（国会議員、首長、地方議員、党支部の役員）に「嘆願書」を提出する。それが、「個人」のものであれば、「うるさい奴が執拗にやっている」「ぐらいいじか感じられない。何故なら、その「嘆願書」の背後には、「個人」の「票」しか読み取れないからである。ところが、統一されたフォーマットで印刷され、「何々の会」「何々全国協議会」といった「組織名」で「嘆願書」

が提出されて来たならば、この「嘆願書」の背後に複数人以上の「票」を感じさせるのである。

そして、そういった「組織」の「嘆願書」が、あちこちでもこちらでも提出された、という風聞が聞こえてくれば、「高市早苗の人氣は、意外と裾野が広いかもしれない」と感じさせることが出来るであらう。だから、手書きで差出人が個人名の「嘆願書」では、はっきり言って効果は薄い。まずは、どんなかたちであっても「組織」を立ち上げることである。それをせず、実行出来ないのならば、自分は期待しない。

タクシー運転手さんとの会話

2021年9月5日 21:49

昨日、空港から事務所までの帰りに乗ったタクシーの運転手さんが、菅政権のワクチン接種に関する不手際をこき下ろし、日本は先進国を名乗る資格はないとまでいっている。

「おいおい、運転手さん。アメリカの混乱を存じないのかい。フランスやドイツで毎日、どんなドタバタが展開されているのか存じないのかい。日本の役人たちの混乱どころのものじゃないよ。連中はそんなことは日常茶飯事なので報道しないだけ、また、そんな報道があつて

も、外国の政府や地方政府のこまごまとした失敗を報道するニュースにニュースハリユーがないから報道しないだけで、日本だけだごたごたしているわけではないよ。マスコミの馬鹿騒ぎに乗せられちゃだめだよ。

僕の見限り、日本の役人どもは、世界のどこよりもまくやっているよ。そのうち、ワクチンの接種率は、日本が一番になるから」って言ってやりました。運転手さんは、そんなんですか。マスコミは分かかって騒いでるんですか、と不満気でしたが、日本人と違ってアメリカ人やヨーロッパ人は約束も守らないし、若者は、政府のいうことに大人しく従うことはまずないからね。なんといっても彼らは、列車を時間どおり運航させることもできないんだから。民度が違うんだ。民度が、東京都の失敗を大々的に取り上げて報道するのは、まさに几帳面な日本人だからでしょ。と続けました。さすがに、運転手さんは、黙ってしまいました。ごめんね。運転手さん。

タクシー運転手さんが国民の多くの声を代表してるんじゃないかね。今一番怖いのは、日本は議会制民主主義ではなく、マスコミ制民主主義。

タクシーの運転手さんは独自の情報源で菅さんのやったことを十分わかっけていて、そのうえで言っているのか。そうではなく、彼の情報源はマスコミ。ワイドショー等で単に、権力批判をして人気を取りたいマスコミに煽られただけ。これがいま日本の一番の危機だと思えます。 マスキ

ワクチン開発＝国防への投資

2021年8月22日

ワクチンは国防資材です。医療現場ではアピガンもイベルメクチンも患者に投与されており、既に大量の臨床例があり、毎日のように論文が発表されていますが、ワクチンに勝る効果を得ていないようです。

中国を隣に持つ以上、これからも新型ウイルスによる新型感染症が毎年毎年中国から入ってきます。対抗策は基本的にワクチン開発しかありません。人間の抗体（免疫機能）に依存するわけですから最も自然な方法です。今回は、国民のワクチンアレルギーを解消する千載一遇の機会です。併せて、国内の製薬企業にワクチン開発の経済的インセンティブと使命感を植え付ける機会でもあります。

ワクチンの治験に通常10年を要するというのは眉唾の与太話ではないですか。なんといっても日本の場合、他国より治験 を丁寧に行い承認が遅れたことから、すでに4000万人が接種しており、安全性は人体実験で検証されているではないですか。人体実験で効果の確かめられたワクチンの危険性を心配するなんて、海洋放出による放射線の影響を過度に心配する原発反対サヨクや韓国政府と同じではないでしょうか。費用のことを云々して製薬会社丸儲けを非難する人も散見しますが、国防のための

資材です。最新鋭ステルス戦闘機は、一機10億円といわれていますが、ワクチンの購入費などこれに比べたらしれたものです。せいぜい儲けてもらうって、新たな新薬開発に投資してもらおうべきでしょう。

僕はなんともいいませんが、日本の感染症対策は及第点です。医療には問題がありますが、これは世界標準を意識しすぎてV類にしているからです。V類にすれば解決しますよ。反対論は承知していますが、逆に厳しすぎると思っています。みんな街へでどんどん感染すればよいのです。それが集団免疫の近道です。のりを超えた「老人は、家に籠ってワクチンを接種してじっとしていること。20代や30代の若者は、街にどんどん繰り出して積極的に感染して、自分で免疫で治して自然抗体をつくる。これが一番です。変異種に対しても相当程度、免疫効果はあるのですから。

首里城火災裁判の件で、沖縄へ出張してましたが、若者は朝まで飲んでます。密の中、マスクもせず、アクリル板もなくです。国際通りを歩いていると中の若者たちが、ジョッキを手に飲んでる様子がみえます。ああ、良き哉。

「起訴相当」と「不起訴不当」の違い

2021/08/02

メディアは、検察審査会における「起訴

相当」「不起訴不当」の違いを明らかにしないまま報道しており、悪質な印象操作となるおそれがあります。

「起訴相当」が2回続けば、強制起訴となりますが、「不起訴不当」は何回続いても強制起訴となることはないのです。

この違いがわかっていたら、「不起訴不当」にことまかったことは、安部総理にとって祝杯をあげるべき結果というべきでしょう。

眞子内親王殿下の御結婚 2021年9月2日

低俗な週刊誌に毒され、逆上せ上った国民の上から目線に負けることなく、「恋」を貫かれた眞子さまに心からのエールを送ります。

ニューヨーク州の司法試験は、全米の中でももっとも簡単だということは、ニューヨーク州に留学して弁護士資格を得た国際事務所の同僚たちから聞いています。きっとそのうち司法試験に合格するでしょう(今年、合格するかどうかはわかりませんが)。由緒正しき皇統の姫君を妻にしているのです。

ニューヨーク州の法律事務所の新前弁護士士の給料の相場は1500万円から2000万円だときいています。それくらい払って日本の皇室と関係を持つとする事務所はいくらでもあるはず。姫君の心を射止めるべしです。世俗的な能力においても光るものをもっているはず。学生時代のことを思い出しました。

テレビCMで有名な一部上場企業の創業家の息子が、京都大学の1年上級生にいました。彼は、ノンセクトフジカルを標榜している過激派の赤ヘル学生で、共産党の民生部隊を敵視していました。僕は、彼に大学政治に関するいろんなことを教えてもらいました。僕がその後、司法試験を目指して勉強をはじめたら、彼は革命を諦めて資本主義社会の中で生きる覚悟を決めました。なんとか留年していましたから、いくら京大生でも就職には不利です。それでも、あの博報堂に入社しました。要するに、博報堂は、CMを電通にとられないために人質をとったわけです。

それがコネ入社であろうが、人質であろうが、一流企業に入社して一人前に稼げるようになる道は沢山あります。眞子様の夫となる人にはその道が開かれています。願わくば、彼がそのことを生涯の恩と感じ、これからも眞子様の幸せのため全身全霊を捧げること、眞子様を悲しませるような行いのないことを思います。そんな思いをもって、これからも眞子様を思い下僕の一員として密かに姫を応援していくことを誓います。

東京 多田 淳

眞子内親王の男女関係恋愛問題について、本来私の同志系統で有る等の、村田春樹氏や弁護士徳永信一氏等が、皇室に関して下々の民草が批判非難等の不遜不敬な発言をせずお祝い申し上げるべきとの発言を読んだが、違和感がある。皇室皇室とは現人で有りながら、

世界で唯一の惟神の大元であり、皇國臣民総ての安寧と幸福を日々祈って下さっている、誤解を顧みず書けば、御神職の筆頭であり世襲である故に神聖であ清浄であり犯しべからざる人知を超越した家柄であるのだ。だから皇國總鎮守の伊勢神宮の祭主は皇族が相務めておられる。

国民が危惧して居るのは本来清浄無垢である皇室に小室という穢れが近づき入り込み腐らす事が皇國の存亡自らと子孫の魂の存亡に関わるという事を遺伝子的本能で察知して危惧と嫌悪感を覚えているのである。誰も書かないようなので批判批難を承知で敢えて書かせて頂きました。

「村田春樹氏や弁護士徳永信一氏等・・・違和感がある。」

いや、実は私も同じで、声を大にして言うほどでもないのですが、正直このことについては村田春樹氏や徳永弁護士にたてつかせていただきます。もちろん感覚的なものです。 マスキ

神奈川 井野陽子

増木先生・多田淳様 まったく同感です。多くの国民が一樣に感覚的に小室という穢れが皇室に入り込もうとしていることに嫌悪感を感じずにはいられないのです。

感覚的に多くの国民が感覚的に忌み嫌うという現実こそ真実ではないかと思えます。

小石原健介からの世界から見た日本

国歌は本来斉唱するもの

8-29

家内が昨晚遅くまでテレビでパラオリピックを見ていると南アの金メダリストの表彰が続きその国歌の奏が素晴らしいしかったとの話しを聞き、改めてユーチューブで南ア国歌を聴いて見ました。私が居た当時とは異なり民族融和の国歌でズール語はじめ異なる黒人言語、最後は英語の歌詞、録画は日本のラクビーワールドカップの優勝時、白人、黒人が肩を組み大声を出して我が祖国の国歌を斉唱している感動の場面でした。

ついでに Good save the Queen のイギリス国歌他、アメリカ、フランス、ドイツなどの国歌や歌詞、動画を改めて鑑賞しました。いずれの国歌や歌詞も素晴らしい、それぞれ我が祖国に誇りを持って高らかに斉唱している。言うまでもなく日本の国歌のメロディー、歌詞も素晴らしい。戦後の日本人はなぜこの祖国の国歌に誇りを持って斉唱しないのか、斉唱されているのは大相撲の千秋楽ぐらいである。

なぜ国会の開会や学校の式典で国歌を斉唱しないのか、国民が国家観を持たない日本のような国はまず世界に存在しない。政府は一体何を考えているのかと言いたくなる。

岡山 福井成範

その通りです。国歌の独唱が多く違和感を感じます。国家は本来斉唱するもの、独唱、合唱するものではありません。オリンピック閉会式では宝塚の歌姫達の斉唱がありました。素晴らしかったです。それにしてもメダリスト表彰式時の日の丸掲揚そして君が代演奏は感激的でした。

東京 落合道夫

若い頃米国を旅行しました。当時の米国では国歌斉唱の機会がありました。外国人の私は当然礼儀正しく黙って聞いていました。昨今は米国内で、国家の統一性に異論があり、政権が斉唱反対を押しさえられないようです。このため独唱になったのではないか。国歌は共同体の歌ですから、その場にいる共同体の成員は当然斉唱すべきです。

「国歌は本来斉唱するもの・・・知りませんでした。国歌の独唱でも、歌わないよりはるかにましだから、ここは目をつぶりましょうよー！！」 マスク

岡山 荒木 徹

パラリンピック、男子バスケットボール日本対トルコ戦。縦一列に整列した日本選手が全員マスクを脱し、精一杯の声

高らかに君が代合掌、続いてトルコ選手が同じ隊列、全員マスクなしで同様に同国歌を合唱。感激しました！

オリパラ通じて嬉しく思う光景は幾つか見たが、国を代表する選手には、ぜひ声高らかに国歌を歌って貰いたい。

不忘山慰霊碑

8/18

毎年八月十五日の終戦記念日が来ると政府主催の終戦記念日を始め、各地で当時の戦争の悲惨な記憶を語り継ぐ催しが開かれる。ところで国民は不忘山慰霊碑のことを知っている者やこの美談を報道するマスクミはいるのでしょうか。不忘山慰霊碑とは1945年(昭和20年3月10日)搭乗員34名を乗せた米軍爆撃機B29が3機、宮城県白石市の標高1,700mの不忘山の山頂近くの山麓に衝突、大音響で爆発・炎上遭難した。翌朝、数人の村民と一人の警察官が山へ登り34名の搭乗員の遺体を発見。彼らは遺体を一か所に集め、火葬。この3機の米軍爆撃機B29は、サイパンを立ち去った晩、焼夷弾による「無差別攻撃」で10万人以上の東京都民を殺戮した。その事実を知りながら地元民たちは武士道精神を以て彼らの遺体を手厚く埋葬した。そして終戦の年の8月15日、アメリカ軍は不忘山へ来てすべての遺体を集めて横浜のごんごへ持ち帰った。その後10年を経て1961年、村民たちは、遭難場所に新しい墓標を建てた。そして戦後70周年を記念して造られた「国際平和公園」の中心としてもう一つの「戦没者記念碑」を建てた。日本人

自体がこの事実について全く知らないのは、一体どういうことであるのか。

戦後の日本人教育は国民に戦争の自虐意識を植え付け、日本人古来の武士道精神や倫理道徳観を教えない、またこれを美談として報道しない。まるで反日教育が文化人教育と錯覚をしている。

日章旗と国歌

8/17

私には日章旗や国歌には格別の思いがあります。練習船の航海では毎朝八時には威儀を正し船尾に日章旗を掲揚する。夕刻になれば船内にアナウンスで「日没五分前夜航海に備え」あり、日章旗を降納する。日章旗の扱いは甲板上に絶対に落とさない細心の注意を払う。

ベトナム戦争の真つ只中ベトナムの力ムラ湾に塩を積みに行った航海では、カムラ湾が近づくとも米軍偵察機が超低空飛行で本船に近づいてくる、その度にマストに日章旗を掲げて誤爆を防ぐ、日章旗は日本人の身の安全を守る盾である。

初めて米国の地を踏んだ際、日本とは違い、政府、公共施設や学校の建物に翻覆と翻る星条旗を見て国家観を国民に植えつける、ここが米国の思いを強くしました。また当時の台湾では映画館に入れば前に観客全員が起立をして国歌『梅の花』の演奏に威儀を正す。残念ながら戦後の日本では自国の近現代史を教えない、国立大学でも式典での国旗掲揚と国歌斉唱を拒否していると聞く、こんな反日国家は世界でどこを探してもない。

川内時男校長の教育宣言

徳島県立中学校校長 川内時男

<http://100ps.info/katudoukirok>
[u/nakama/R2-1-17kawauti/tp.htm](http://nakama/R2-1-17kawauti/tp.htm)

40. 教育は「きれい事」ではなく、結果が全て (R2-6/21)

「子供は無数の可能性を秘めている」との言葉をよく聞きます。これを額面通りに信じている人は教育界の中にも多くいます。「子供の力を信じよう」とする気持ちから出るのでしようが、現実には子供の力が無限であるはずはありません。ただの「お題目」です。しかしその「お題目」を信じているから子供の力を過信し、深刻ないじめ問題の解決までも子供の手に任せようとする教師が出るのでしよう。子供の力で解決する、と言うことはつまり子供に話し合いをさせると言うことではしようが、「いじめた」「いじられた」程度の軽微ないじめならまだしも、深刻ないじめは大人でさえ解決が難しいものです。その解決を子供の手に委ねるなど、教師の責任の放棄ではありません。実は教師に訴え出たいじめ被害者の子供は「先生、僕を助けてー!」「僕をいじめる悪い奴をやっつけてー!」と悲鳴を上げているのです。

この気持ちに添えてやらなければなりません。口頭から「子供の気持ちに寄り添って」と言っているのですから。言うことも、理も非も問わず「悪人」をやっつけるわけにはいきません。加害者から十分な聞き取りをし、理不尽ないじめだと判明した時に「悪人」を懲らしめることです。大声を張り上げて加害者の子供をとっちめるのです。まかり間違っても「いじめはいけないことなんだよ」と諭したり、形だけの謝罪で済ませたりすることは許されません。品のない言い方ですが、こういうときには加害者をびびらせ「今度同じことをしたら先生に張り倒されるかも・・・」と思わせることです。こうすることで被害者は安心し、教師は信頼されるのです。これを「力で押さえる指導は教育ではない」などという先生は、子供や保護者から「口先だけできれい事言う先生」とされ、それを知った子供からは先生を軽んじられ、いじめがエスカレートするのです。

いじめに対しては教師は常に厳しく指導しなくてはなりません。「いじめを絶対許さない先生」の姿を子供の目に焼き付けば、いじめの抑止力になり、またそう言う先生に子供が憧れ、見倣ってさえくれるのです。

子供が霊長目ヒト科であると言いつことを忘れ、子供を美化しては指導が「きれい事」に流れます。こんなきれい事の問題が解決できると思っている人は教育関係者だけです。何度も言いますが結果を出せていない者がきれい事を言ってもそれは屁理屈と言います。

41. 豊かな感性は扁桃核で作られる (R2-6/24)

私はこれまで「道徳教育ではかっこいい生き方をした偉人や大人を数多く紹介せよ」と言ってきました。かっこいい人を知れば子供がそれに憧れ真似てくれるからです。これは逆も言えます。子供は「かっこ悪い」と思う人を真似ません。以前、学校でいじめ防止のポスターを見たことがあります。俳優の津川雅彦さんの「いじめ、かっこ悪い!」のセリフと顔が印象に残っています。良いポスターです。子供の心に「いじめのかっこ悪さ」と刻み込まれたことでしょう。ですから子供が憧れる有名人には子供にとって有益な言動をしなければいけないのです。薄っぺらな認識で政治批判するなど、それこそ「かっこ悪い」のです。こうしてみると大脳辺縁系の扁桃核の働きがいかに重要かが分かります。人はみな、かっこいいと感じれば真似るし、かっこ悪いと感じれば真似ません。そして、その感じ方は全て扁桃核が決めているのです。人間の心はここで作られていると言っても過言ではありません。

この地上には137万種を超える動物が生息しているとされます。このうち人間以外の動物はすべて「体で生きる動物」です。手足をものがれても、どれほど厳しい境遇に置かれようとも、体が生きている限り生き延びようとします。自殺など考えません。そしてこれらの動物は自らの生命維持と子孫を残すこと以外に生きる目的を持ちません。しかし唯一人間だけは「心で生きる動物」です。食べて子孫を残すだけの生き方では満足しない生き物です。金銭欲、権力欲、名誉欲にとどまらず、生きる目的が欲しい、崇高な生き方がしたい、充実した人生を送りたい、愛が欲しい、などなど、ほんに人間は他の生き物に比べ、なんと欲張りな生き物でしょう。しかしこれこそが人間であることの証でしょう。因みにすべての哺乳動物は脳に扁桃核を持っていますが、その働きは怒り、闘争心、恐怖心などを起こさせますが、人間のように美しい音楽や景色を見て感激させる働きはありません。

私達大人は次代を担う子供達によい手本を示し、子供達がそれを真似て心豊かに美しく生き、これからの日本を背負っていけるよう導かなくてはなりません。それを考えれば、教育関係者の責任は重く、机上の空論をもてあそんでいる暇はないのです。

子供は自分なりの美学を持ち、かっこよく生きたいと願っています。そのための手本をほしがっています。生きる手本をほしがっている子供にそれを示さず「自分で考えなさい」などは教育の放棄ではありません。「子供に生き方を押しつけるのはよくない」というのがその理由ですが、馬鹿を言っているわけではありません。子供には多くの人の生き方を見せてやるのです。それを真似るかどつかは子供自身に任せるのです。それが自主性というものでしょう。

杉田謙一の歴史。歴史研究家

「草莽の記」より

<https://blazarakuten.co.jp/seimeisugita>

2021.09.02

眞子内親王殿下

ついにこの日が来てしまった、この

ような判断をなされるとは、残念でならない。小室氏が日本のために何を目指された人なのか、国民として敬意をいただける人なのか、寡聞にして知らぬが、皇室にとって極めて危険な人物であることは今までの対処を見ても容易に知られること、かかる人物を眞子内親王殿下につなげた宮内庁の責任は重大であるといわざるを得ないであろう。しかしここまで来てしまった以上、皇室とは無縁な立場で生きて行くっていただくことしか道は残されてはいないであります。

もう宮家復活の道を推し進めるしか、皇室の安泰はない、

2021.08.26

いじめの根絶を

大河内祥晴さん事件からもう27年にもなるのか。ご両親に心配させないようにと決していじめに苦しむ姿を見せなかった大河内君。親同士が同じ優良企業で働いていた関係もあったのでしよう。まさか中学生が。

当時教育界に大激震が走った。ご家族は何にも悪くない、お子さんがあまりに立派であり苦悶を見せなかつただけです。教育にかかわる仲間でお父様にお手紙を差し上げたりしたことを出し出す。学校でも何度とこうした不幸を起させないと必死の取り組みがなされたことを思い出す。

のちに僕らが立ち上げた愛知の教育を考える会の柱の一つはいじめ問題でもあった。登校できない子供らを何とか学校と連携しながら通うことができるようにしたり、校長らとPTA幹部の方と真摯に話す機会を作ったり、生徒さんが通う塾の先生と話したりもした。

子らに自信を持たせることこそ重要だと信じているし、社会に問うべきは普遍性のあるテーマと心得ていますので自虐思想、自虐観念の打破に関してのみブログでは記載していますが、関心を持たぬ時はなかつた。

そうか、お父様はあれからずっと教育行脚をされ続けて見えたのか。その使命感には心から尊敬申しあげる。

人は生物。生物の行動は『種の保存』が原理原則。だから弱い個体はいじめられる。戸塚コトスクール校長の理論だが、私はこれを支持する。

「子らに自信を持たせることこそ重要」まったくその通りだが、今の教育界、まったく逆行している。自信を持たせること

は、精神や肉体を鍛えて強くし、困難を乗り越えさせる以外に方法はない。だが鍛えることを否定し、ストレスを与えることが悪のような教育界。ストレスに打ち勝つように育てることを、鍛えるって言うんだよ！

東京 落合道夫

いつも貴重な情報ありがとうございます。いじめの対策のご意見に賛成します。戸塚先生を尊敬しております。

私は息子が小学校に入ると低学年から空手道場に行かせました。そのためかいじめの問題はありませんでした。日本では古来文武両道と言いますが武をやらないと、人間、力強さが生まれません。そこで子供には何か武道をやらせると、その後の人生観にも得るものがあるのではないかと、思います。

私は学習塾を45年ほどやり、多分2万人ほどと生徒を見てきました。その中である程度のごときは自信をもって言えます。そしてそれを理論立てて説明してくれたのが校長。別に彼が僕のために理論を構築したわけでもないですが、私が経験から思っていることを、彼の理論が正しいことを立証してくれました。

200年ほど前、百人の会の勉強会で、「山口組の親分の息子は絶対にいじめられない。」と言ったら、長崎の浅田五郎先生から、烈火のごとく怒られました。が、まちがった事実とは言っていないと思います。

MASUKI

山口 中嶋文雄

叩かれて叩かれて強くなるんだよ！ 虐められて虐められて、強くなるんだよ！ サバンの掟・・・基本は、生きるとサバンの掟なんですよ。マスキさんのおっしゃる通りです。教育者はこれをじっとかげながら見ていて、限界になる前にそっと調整をしてあげることです。

「限界になる前にそっと調整」これが真のやさしさではないでしょうか。 Mスキ

明日は東条閣下が自決におよばれた日

2021.09.10

明日は東条閣下が自決におよばれた日。ヒストルの弾が幸運にも心臓に当たらず命が残ったわけですが。先日ある方との議論で基本、対米戦争に至った経緯やその背景などの認識は一致するが閣下の自決に関して「古式にのっとり割腹するのが責任者のつとめ」とおっしゃる。未遂に終わっただけをあげつらうのは無礼だ。

杉田さんは優しいから。僕なら、「なるほど、よくわかりました。それでは今、この場でお手本をー」っていうだろうな。きつとこの御仁、「俺は作法に詳しい」とも言いたかつたのかな。 Mスキ

連合艦隊各艦の予定・活動報告

ZPO 法人百人の会

●弊ZPO 法人百人の会は、第42(通算106)回定期勉強会・理事会の時期となっておりますが、「コロナウィルス」のため、アクセルとブレーキ両方に足を置いたままの状態となっております。第11(通算22)回定期総会(書面決議)の報告や、いろいろお話ししなければならぬことも溜まってきていますが躊躇する日を送っています。大阪的には、人口が半分なのに感染者数が東京を上まりました。「コロナの動向を見極めて勉強会・理事会を再開したいと考えております。日程はもう少し状況を見て決定しご連絡いたします。決して忘れてはいませんので念のためご連絡いたします。

台湾人日本国籍確認訴訟支援の会

●(やっこ) 口頭弁論の期日が決まりました。

期日 10月12日11:00
(抽選 10:20)
会場 東京地裁103号(特大法廷)

裁判所から「傍聴人は何人くらいか」と問われた徳永弁護士が、「50人くらい」と大見栄を切っていました。裁判所はウジを準備して待ち構えていると思えますので、空席が多いと格好がつきませ

ん。関東の方、なにとぞよろしくお願ひいたします。原告のおじいちゃんたちは「這ってでも行く」と仰っしゃっています。状況により、開廷が変更、延期もあり得ますので事前にご確認を忘れず。09037104815(増木)

台湾人日本国籍確認訴訟支援の会
東京幹事 二瓶文隆

大阪おばちゃんの家

●口頭弁論の期日
期日 9月30日13:30
会場 大阪地裁806号

編集後記

私は、高市議員を支持しています。

20年前から。トミシも「トミシ」です。彼女を支持する理由、それは彼女が靖

国参拝を宣言しているからでも女性だからでもありません。彼女の経済政策、「累進課税見直し」に大賛成だからです。下世話に言えば、貧乏人優遇大反対。私は累進課税反対論者で、累進課税がある限り、日本が米国の上をいく、経済発展はないと考えます。なぜ高所得者の税率を高くしないといけないのか。合理的説明ができますが、なぜ貧富の差があっ

てはいけないのですか。日本は資本主義社会ですよ。皆平等に、高所得者、低所得者、同じ税率でいけないんですか。皆平等でしょ。金持ち差別は許されるんですか。同じ金額なら、そんな無茶な、と思います。貧富の差をなくす結果平等はご免です。

共産主義(真の)ではないのだから。そもそも今の日本、ほとんど貧富の差などありません。今報道されている貧困のほとんどは、「勝手に貧困」だと思えます。親が「やめとけ」言うのに結婚し、離婚して貧困。

累進課税は低所得者に配慮しただけのことだと思えます。なぜなら低所得者が高所得者より圧倒的に数が多いから。日本の発展より、低所得者に配慮して票が欲しい。それも民主主義でしょうが、私は日本の発展が最優先だと思えます。その機関車にドンドン燃料をつぎ込まなければ馬力が出ないと思えます。トヨタでも孫さんでも、集めた利益を税としてビルゲイツに負けない資産基盤を作る。それを思いきり活用し更なる起業。

「そんなもの知らんがな」と言わざるを得ない。またまた夢見る夢子ちゃん、勝手に身の丈以上の生活をし、お金が回らなくなると、「貧困だー」勝手に夜も寝ないで働いたらいいのでもないでしょうか。すぎ焼きは月2回までとか。松下幸之助翁もそうしたように。遊びにも行かないで働いてためた利益。あげくのはてが高税率で持っていける。あほらしくなります。私はもちろん低所得ですが貧困ではありません。誰よりも日本の繁栄を最優先に願っています。

それは、低所得者に雇用でもいい、何らかの方法で利益配分をしたらいいのでは。もちろんサーバーネットは必要ですが、日本はもっともっと貧富の差があつていいと思えます。 増木

累進は国家的追い剥ぎです。累進では能力がある人が海外の税の安い国へ逃げ出すだけだと思えます。 増木

原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載し希望の論文、情報等とどんなメールでお送りください。また、弊紙は郵メールで発送し、重さ制限は50gです。また10g程度余裕がよいです。資料等の同封が可能です。ご相談ください。

●弊紙は購読料は頂戴しておりません。

「M情報」では、日々、全国各地の間から情報が送られてきます。それをメルマガで転送配信します。内容はどこよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレスに「メール希望」と空メールを(発信名義「ZPO 法人百人の会」)。

活動資金の協力をお願いします

郵便振替 0980-8-245647 MASUKI 情報デスク
口座振替 099-0245647 MASUKI 情報デスク
三菱UFJ銀行 口座振替 0044349 増木 豊大